

中学生参加の特別同意書

全日本ライフセービング選手権大会とサーフカーニバル（全日本ライフセービング種目別選手権大会）への参加について

公益財団法人 日本ライフセービング協会
ライフセービングスポーツ本部 宮部周作

国内において中学生が参加できる競技会はまだまだ多くありません。それを補うために特別な条件のもとに全日本選手権大会およびサーフカーニバル（全日本種目別選手権大会）への参加を認めることにより、才能ある中学生に挑戦の場を増やし、その成長のための環境を整えることを実施していきたいと考えます。

しかしながら大人に混じって競技に参加することには、体格に勝る大人とのコンタクト（接触）による怪我や、中学生の競技レベルに合わせた安全管理がなされていないなど、様々リスクが考えられます。そのため中学生のだれもが気軽に参加するべきではなく、サーフライフセービングインストラクター資格を所持するユース指導責任者（以下、ユース責任者）、その保護者、そして本人が、本人の力量、体調、精神状態、そしてフィールドのコンディションを見極めた上で、覚悟を持って参加するべきです。

さらには体格差、技術、体力、怪我の可能性などに少しでも不安がある場合、勇気を持って参加をとりやめるべきです。

上記の考えのもと、以下の条件において全日本選手権大会およびサーフカーニバル（全日本種目別選手権大会）への参加を認めます。

● 参加条件

- ユース責任者と保護者が、参加する全てのレースに立ち会えること。
- 中学生が参加できる種目は当面、体への負担の大きいサーフスキーを使用する種目やコンタクトの多いビーチフラッグスを除く。サーフレース等のスイム関連種目については、ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会等のサーフレース高校生の部において8位入賞したもののみ出場を可能とする（競技会エントリー時点では8位入賞した実績を持っている必要はないが、8位入賞できなかったために競技会参加資格が得られなくてもエントリー費の返金はされない）。
- 本人の参加が、競技会進行を妨げないこと。

- 本人が、ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会等の競技会における、高校生の部で入賞を目指せる実力を持つこと。
- 競技会主催者には、主観的な判断で中学生の参加を止める権限があり、その判断に対して異議の申し立てはしないこと（抗議は受け付けない）。また、いかなる理由においてもエントリー費の返却を求めないこと（返金はしない）。

- 参加方法

- 競技会会場で立ち会うユース責任者と保護者が、参加する本人の体格・技術・体力・精神面および海のコンディションをレースごとに確認し、話し合う。レースごとの参加判断は、ユース責任者、保護者、参加する本人の責任において行う。
- その際ユース責任者は、ライフセーバーとして、またサーフライフセービング・インストラクター資格保持者として、慎重な判断を行う。
- ユース責任者と保護者の両名が免責条項を含む特別同意書へサインし、両名同席の上でこれを競技会実行委員会へ提出すること。他に指定のない限り、代表者会議終了後に受け付けるものとする。

- 参加できる種目一覧

- サーフレース^{※1}
- ボードレース
- ビーチスプリント
- ビーチラン（2km）

*以下は全日本選手権のみ

- レスキューチューブレスキュー
- ボードレスキュー
- オーシャンウーマンリレー/オーシャンマンリレー^{※2}
- ビーチリレー

^{※1}過去のジュニア/ユース/マスターズ選手権大会等におけるサーフレース高校生の部において8位入賞した実績があること

^{※2}出場できる種目（区間）は、スイム区間、ボード区間及びビーチラン区間のみとする。

宛先：日本ライフセービング協会

サーフカーニバル 第34回全日本ライフセービング種目別選手権大会 実行委員会

中学生参加の特別同意書

競技会に参加する中学生選手、本人の属するクラブにおけるユース責任者、および保護者は、自然の中で行われる競技会における環境のリスク、体格に勝る大人に混じって競技に参加することのリスク、本競技会では中学生の競技レベルに合わせた安全管理がなされていないことを理解し、さらに以下の条件を満たしている、または理解していることを約束します。

- ユース責任者と保護者は、参加する全てのレースに立ち会うこと。
- ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会等の競技会における、高校生の部で入賞を目指す実力を持つこと。
- 競技会主催者には、競技会主催者の主観的な判断で中学生の参加を止める権限があり、その判断に対して異議の申し立てはしないこと。また、いかなる理由においてもエントリー費の返却は求めないこと。
- 競技会会場で立ち会うユース責任者と保護者は、参加する本人の体格・技術・体力・精神面および海のコンディションをレース毎に確認し、話し合うこと。レースごとの参加判断は、ユース責任者、保護者、参加する本人の責任において行うこと。

本競技会中、万が一生じた死亡、傷害及び賠償責任に対する補償は、主催者の加入している保険の範囲内とし、主催者、役員、認定審判員、スタッフ、及び他の参加者に対して責任を問わず、自己の責任において処理いたします。

記入日： (西暦) 年 月 日

所属クラブ名： _____

中学生競技者名： _____

ユース指導責任者氏名（署名）： _____

保護者氏名（署名）： _____